



ティール&ホワイトリボン

平成30年1月から旭川市の 子宮がん検診が変わります



旭川市キャラクター
ゆっきりん

1 対象者は20歳以上の偶数年齢に

2 新たにHPV検査がはじまります

(20歳〜40歳代)

HPV(ヒトパピローマウイルス)検査とは?

HPVは、子宮頸がんの主な原因とされるウイルスのことです。HPV検査は、細胞を採取してHPVの有無を調べる検査で、頸部細胞診と併用することで、**診断の精度を上げることが可能**となり、また、将来、**子宮頸がん**になるリスクの有無も分かります。

HPV検査の費用は?

費用の一部を市が負担するため、500円(国保加入者は300円)で受診できます。

※子宮がん検診の費用は別途かかります。

子宮がん検診・HPV検査に関するQ&A

Q 子宮がん検診を受けることができる対象は？

A 受診年度の4月1日現在で、20歳以上の偶数年齢の女性が対象です。
平成29年度においては、平成29年4月1日現在、奇数年齢の方は、平成30年1月から3月まで、市の検診の対象外となります。

Q HPV検査を受けることができる対象は？

A 子宮がん検診を受診する20歳から40歳の女性で希望される方が対象です。
なお、HPV検査単独では受診できません。

Q どうして変わるの？

A 子宮頸がんの患者が増えている年代に、新たにHPV検査を加えるとともに、国のがん検診の指針に合わせ、すべての年代の受診機会を2年に1回にします。

Q HPV検査はどのように行うのですか？

A 子宮頸部の細胞を採取して検査します。頸部の細胞診と同時に採取できます。

Q HPVに感染するとどうなるの？

A HPVは、主に性交渉によって感染し、性交渉経験がある約80%の女性が生涯に一度は感染するといわれている、ごくありふれたウイルスです。

HPVに感染しても多くの場合、症状のないうちに自然に排除されると考えられますが、高リスク型のウイルスが排除されずに感染が長く続くと、がんになる前の状態（異形成）となり、さらに持続するとがんに進行することがあります。

Q HPV検査の結果が陽性だった場合、どうすれば？

A 多くの場合は身体の免疫機能によってウイルスは自然に排除されますが、検査を受けた医療機関の医師の指示に従い、定期的に検査を受けてください。

Q 子宮がん検診・HPV検査はどこで受けられますか？

A 下記の医療機関で受診できます。



20歳になったら、子宮がん検診を受けましょう。

医療機関名	住所	電話	医療機関名	住所	電話
旭川レディースクリニック	3条通2丁目	25-3110	みどり野クリニック	旭神2条5丁目	68-2525
慶友会吉田病院	4条西4丁目	25-1115	たけだ産婦人科クリニック	豊岡11条5丁目	34-1188
旭川赤十字病院	曙1条1丁目	22-8111	東光マタニティクリニック	東光10条6丁目	34-8803
産婦人科・内科あべクリニック	1条通8丁目	25-3900	市立旭川病院	金星町1丁目	24-3181
森産科婦人科病院	7条通7丁目	22-6125	並木通りクリニック ※2	春光3条7丁目	59-7390
和田産婦人科医院	4条通15丁目	23-3521	上村産科婦人科医院	末広東1条3丁目	53-1551
旭川産科婦人科	6条通15丁目	23-3127	旭川がん検診センター	末広東2条6丁目	53-7111
JA旭川厚生病院 ※1	1条通24丁目	33-7171	せせらぎ通りクリニック	永山6条11丁目	47-7321
豊岡産科婦人科医院	豊岡4条1丁目	31-6801	旭川医科大学病院	緑が丘東2条1丁目	65-2111
みずうち産科婦人科	豊岡4条3丁目	31-6713			

※1 JA旭川厚生病院は、HPV検査を平成30年4月1日から実施する予定です。 ※2 並木通りクリニックは、HPV検査を実施しません。

《お問合せ先》 **旭川市保健所 健康推進課 健康推進係**
旭川市7条通10丁目 旭川市役所第二庁舎3階 ☎25-6315

